

## 平成30年度 伊万里市水道施設整備事業評価委員会議事録

1. 日 時：平成31年2月18日（月） 16時00分～16時00分
2. 開催場所：水道部内会議室
3. 出席者：
  - (1) 委員：力武委員、崎田委員、吉田委員、松永委員、前田成利委員、吉岡委員、前田鈴子委員  
(山口委員、桑原委員、田中委員、吉富委員は都合により欠席)
  - (2) 事務局：中里部長、杵嶋副部長(兼)管理課長、原口工務課長、古賀浄水場管理事務所長、末石管理副課長(兼)管理係長、吉永工務副課長(兼)工務係長、古竹営業係長、小寺浄水係長、鶴田維持係長、山崎水道施設係長、椛島管理係員、片山管理係員
  - (3) 傍聴者：なし
4. 内 容：
  - (1) 開会
  - (2) 委嘱状の交付 部長より代表して松永委員へ交付
  - (3) 委員長の選出  
事務局より、審議会と関連のある会であることから、委員長に審議会会長である松永委員を推薦する旨の提案を行い、出席の全委員の了承を得る。
  - (4) 議事
    - ・委員長による議事進行

### ①工務課長より伊万里市水道施設更新事業について説明

#### ・委員より

伊万里市内の管路更新につきまして、耐震化が10年間で25.2%しか更新できておらず、74.8%は非耐震化であるというふうなことで、10年先の生活を考えていけないといけないのかなと思います。管路のほうはこの10年間であまり進まないなという感じがしましたが、去年はどのような結果だったのでしょうか。

#### 【事務局】

5年で1回見直しということになりますので、今のところスパンとしては10年間で、年度毎に精査しながら、5年に1回、次の10年、次の5年というように見直しをしています。

耐用年数が40年という話ですが、できたら41年、42年と延ばしながら更新していったほうが、市としては有利になるわけですから、予算等を考慮し、漏水がひどいところは先にしたり、延ばすところは延ばしたりして、年度毎で精査しながら進んでいかなければならないのかなと思います。

- ・委員より

基本計画は、水道事業更新計画に沿って計画されているが、基幹構造物の中で、更新計画には、平山送水ポンプ場が上がっていたかと思うが。

**【事務局】**

送水ポンプ場については、以前説明した時には上がっていましたが、耐震性でいうと、11、12年延ばしても大丈夫かと思いましたが、7施設の方から優先的にやっっていこうという流れになっています。

- ・委員長より

耐震性について、震度はどれぐらいで考えているのですか。

**【事務局】**

直近でいうと熊本県の震度7ですが、今までの構造物については、今の指針でいうと、最初は阪神淡路大震災分のデータしか西日本のエリアになくて、そこをもとにしています。

- ・委員長より

福岡西方沖と熊本の地震があつて、伊万里でも震度3の揺れがありましたが、水道管の被害はあつたのですか。

**【事務局】**

水道関係で被害については、記憶にないです。

- ・委員長より

埋設管そのものはやられてないのですか。

**【事務局】**

聞いてないですね。

- ・委員長より

ほかに質問がないようですので、先ほどから説明があつていますとおり、伊万里市の水道施設が将来にわたって安定した水道水の供給を維持していくために、更新事業を計画的に実施することが望ましいと思います。

費用対便益も1以上あることから、投資効果もあるということですし、事業の効果は大いに期待できると考えます。

よって、伊万里市水道施設更新事業の投資は適切であり、事業実施ということで決定してよろしいでしょうか。

(出席の全委員の了承を得る)

- ・委員長より

それでは事業実施をするということで、決定します。

これで、平成 30 年度伊万里市水道施設整備事業評価委員会を終わります。